



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 杉本 達哉 (TEL) 052-963-7501  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	137,682	4.9	10,190	△3.0	11,339	△4.1	9,857	29.2
2022年3月期第1四半期	131,239	47.8	10,505	—	11,824	—	7,628	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 11,610百万円( 9.1%) 2022年3月期第1四半期 10,641百万円( 334.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	231.26	—
2022年3月期第1四半期	178.95	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	758,185	371,858	44.3
2022年3月期	728,187	365,004	45.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 335,784百万円 2022年3月期 329,713百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	80.00	—	100.00	180.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	80.00	—	100.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	280,000	9.7	19,500	1.8	20,000	△2.7	15,500	20.7	363.62
通期	600,000	13.3	34,000	△8.1	35,000	△10.7	25,000	△7.0	586.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

第2四半期(累計)の連結業績予想のみ修正しております。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	43,448,769株	2022年3月期	43,448,769株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	822,282株	2022年3月期	822,129株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	42,626,569株	2022年3月期1Q	42,627,247株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足説明資料	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進む中で持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢の長期化や中国におけるロックダウンの影響に起因する原材料価格の高騰やサプライチェーンの混乱、足元での新型コロナウイルス感染症の再拡大など、依然として厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中、特殊鋼の主要需要先である自動車関連の受注は、半導体や部品の供給不足に加え、中国におけるロックダウンの影響により、前年同期比で減少しました。同様に産業機械の受注も、供給制約の影響を受け減少基調となりましたが、半導体関連の受注は、5Gの普及やデータセンターの建設・更新需要により堅調に推移しました。この結果、鋼材売上数量は前年同期比で減少しました。

一方、主要原材料である鉄屑価格は、足元では市況が軟化しているものの、国際価格の上昇により前年同期比では高値で推移し、ニッケルなどの各種合金類についても供給制約により価格が上昇しました。また原油・LNG価格高騰によりエネルギーコストも増大しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は前年同期比64億43百万円増収の1,376億82百万円、経常利益は前年同期比4億84百万円減益の113億39百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比22億29百万円増益の98億57百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連や産業機械向けの受注減少を受け、前年同期比で数量が減少しました。工具鋼も、自動車減産の影響により、前年同期比で数量が減少しました。主要原材料である鉄屑価格は、国際価格の上昇により前年同期比で高騰し、エネルギーコストも原油価格の高騰により増大しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量は減少したものの、原材料価格の上昇を販売価格に反映させたことにより前年同期比8.7%増加の505億91百万円、営業利益は、前年同期比8億77百万円減益の1億35百万円となりました。

#### ②機能材料・磁性材料

ステンレス鋼および高合金は、自動車関連は減産による調整があったものの、半導体関連や電気電子関係の受注が堅調に推移し、前年同期比で数量が増加しました。磁石製品は、自動車減産の影響を受け、売上高は前年同期比で減少しました。粉末製品は、自動車減産により数量は減少したものの、ニッケルなどの価格上昇を販売価格に反映させたことで、売上高は前年同期比で増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における機能材料・磁性材料の売上高は、ステンレス鋼の売上数量の増加およびニッケルなどの各種合金の価格上昇により前年同期比13.7%増加の544億31百万円、営業利益は前年同期比3億66百万円増益の75億7百万円となりました。

#### ③自動車部品・産業機械部品

エンジンバルブ部品・型鍛造品は、自動車減産の影響を受け、精密鋳造品は、自動車生産の減少に伴うターボ関連製品の需要が減少し、それぞれ売上高は前年同期比で減少しました。一方、自由鍛造品は、半導体関連や船用バルブが好調に推移し、航空機需要も回復の兆しが出てきたことから、売上高は前年同期比で増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における自動車部品・産業機械部品の売上高は、自動車部品での売上数量減少により前年同期比4.3%減少の238億28百万円、営業利益は前年同期比1億94百万円減益の17億58百万円となりました。

#### ④エンジニアリング

自動車部品向け熱処理炉の受注増加により、当第1四半期連結累計期間におけるエンジニアリングの売上高は、前年同期比1.4%増加の37億78百万円となりました。営業損益については、前年同期比3億20百万円改善したものの65百万円の損失となりました。

#### ⑤流通・サービス

当第1四半期連結累計期間における流通・サービスの売上高は、前年同期比38.3%減少の50億51百万円、営業利益は前年同期比1億5百万円増益の8億83百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ299億97百万円増加し7,581億85百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、「棚卸資産」の増加241億17百万円、減少の主な内訳は、「投資有価証券」の減少30億円であります。

総資産の増減の主な内訳と要因は、下記のとおりであります。

- ・「棚卸資産」は、主として原材料市況の高騰により増加しております。
- ・「投資有価証券」は、保有株式の時価の下落により減少しております。

また、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べ68億54百万円増加し3,718億58百万円となりました。純資産の増加の主な内訳と要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益98億57百万円の計上等による「利益剰余金」の増加55億93百万円であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は44.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元での新型コロナウイルス感染症の再拡大やウクライナ情勢の長期化など、先行きについては依然として不透明な状況が継続しておりますが、販売価格の是正が進む中、鉄屑価格が前回公表時の前提を下回る水準で推移していること、また固定費を中心としたコスト削減に努めた結果、上期については前回公表（2022年4月28日）した業績予想を修正しております。

通期予想については、今後電力を始めとしたエネルギーコストの上昇が見込まれることや、下期の受注動向や原材料市況を見通すことが困難であることから前回予想を変更しておりませんが、合理的な算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,142	59,004
受取手形、売掛金及び契約資産	125,502	128,968
電子記録債権	24,345	27,687
棚卸資産	174,624	198,741
その他	9,150	9,599
貸倒引当金	△78	△53
流動資産合計	391,686	423,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	78,832	79,003
機械装置及び運搬具（純額）	95,232	93,939
その他（純額）	49,636	49,637
有形固定資産合計	223,701	222,579
無形固定資産		
投資その他の資産	3,776	3,894
投資有価証券	86,456	83,456
退職給付に係る資産	15,840	15,802
その他	6,799	8,577
貸倒引当金	△73	△73
投資その他の資産合計	109,022	107,762
固定資産合計	336,500	334,236
資産合計	728,187	758,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,847	51,584
電子記録債務	11,321	11,437
短期借入金	84,562	111,704
コマーシャル・ペーパー	47,000	46,000
未払法人税等	10,157	1,653
賞与引当金	7,789	3,468
その他の引当金	528	406
その他	14,896	27,432
流動負債合計	230,104	253,685
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	69,911	69,642
その他の引当金	4,240	3,826
退職給付に係る負債	13,402	13,455
その他	20,524	20,716
固定負債合計	133,078	132,640
負債合計	363,183	386,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	31,228	31,228
利益剰余金	238,443	244,036
自己株式	△3,663	△3,664
株主資本合計	303,179	308,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,323	19,168
繰延ヘッジ損益	10	26
土地再評価差額金	657	657
為替換算調整勘定	4,968	7,633
退職給付に係る調整累計額	△426	△475
その他の包括利益累計額合計	26,533	27,011
非支配株主持分	35,290	36,073
純資産合計	365,004	371,858
負債純資産合計	728,187	758,185

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	131,239	137,682
売上原価	106,774	113,498
売上総利益	24,464	24,183
販売費及び一般管理費	13,958	13,993
営業利益	10,505	10,190
営業外収益		
受取利息	50	35
受取配当金	978	1,159
持分法による投資利益	201	210
為替差益	172	—
その他	562	335
営業外収益合計	1,964	1,740
営業外費用		
支払利息	207	191
固定資産除却損	104	86
環境対策費	209	84
為替差損	—	6
その他	124	220
営業外費用合計	645	590
経常利益	11,824	11,339
税金等調整前四半期純利益	11,824	11,339
法人税、住民税及び事業税	2,067	1,371
法人税等調整額	1,151	△689
法人税等合計	3,218	682
四半期純利益	8,605	10,657
非支配株主に帰属する四半期純利益	977	800
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,628	9,857

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	8,605	10,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	389	△2,148
繰延ヘッジ損益	△6	15
為替換算調整勘定	1,598	3,114
退職給付に係る調整額	34	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	19	14
その他の包括利益合計	2,036	952
四半期包括利益	10,641	11,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,420	10,335
非支配株主に係る四半期包括利益	1,221	1,274

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社および一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税および地方法人税並びに税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	46,558	47,872	24,900	3,724	8,182	131,239	—	131,239
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,680	3,761	6,744	132	3,268	30,587	△30,587	—
計	63,238	51,634	31,645	3,857	11,451	161,827	△30,587	131,239
セグメント利益 又は損失(△)	1,013	7,141	1,953	△386	778	10,500	5	10,505

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

## (1) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

一部の連結子会社14社について、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更、または四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更したことに伴い、当第1四半期連結累計期間は、主として2021年1月1日から2021年6月30日までの6か月間を連結しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の「特殊鋼鋼材」における売上高は1,504百万円増加、セグメント利益は105百万円増加し、「機能材料・磁性材料」における売上高は2,526百万円増加、セグメント利益は158百万円増加し、「自動車部品・産業機械部品」における売上高は3,850百万円増加、セグメント利益は454百万円増加し、「流通・サービス」における売上高は4,640百万円増加、セグメント利益は179百万円増加しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	50,591	54,431	23,828	3,778	5,051	137,682	—	137,682
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	22,024	4,740	9,399	95	4,263	40,523	△40,523	—
計	72,616	59,171	33,228	3,874	9,314	178,206	△40,523	137,682
セグメント利益 又は損失(△)	135	7,507	1,758	△65	883	10,219	△29	10,190

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足説明資料

(1) 当第1四半期のセグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	2022年6月 第1四半期	前年同期差 増減額 (増減率)	2022年6月 第1四半期	前年同期差 増減額
特殊鋼鋼材	50,591	4,033 (8.7%)	135	-877
機能材料・磁性材料	54,431	6,558 (13.7%)	7,507	366
自動車・産業機械部品	23,828	-1,071 (-4.3%)	1,758	-194
エンジニアリング	3,778	53 (1.4%)	△65	320
流通・サービス	5,051	-3,131 (-38.3%)	883	105
調整	—	—	△29	-35
計	137,682	6,443 (4.9%)	10,190	-315

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	2022年6月 第1四半期	前年同期差 増減額 (増減率)
売上高	137,682	6,443 (4.9%)
営業利益	10,190	-315 (-3.0%)
営業外損益	1,149	-169
経常利益	11,339	-484 (-4.1%)
特別損益	—	—
税引前純利益	11,339	-484
法人税等	682	-2,536
非支配株主に帰属する 当期純利益	800	-177
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,857	2,229 (29.2%)

(鋼材売上数量(単体) 280千t、前年同期差 42千t減)

(3) 当第1四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料・為替市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	2021年6月 第1四半期	2022年6月 第1四半期	
1. 販売価格是正	149	1. 原燃料等市況	176	H2建値 (千円/t)	43.1	55.5
2. 内容構成差他	52	2. 販売数量減少	18	ニッケル(LME) (\$/1b)	7.9	13.2
3. 固定費改善	1	3. 変動費悪化	2	為替レート(TTM) (円/\$)	110.5	129.6
		4. 前期決算期変更	9			
		5. 営業外損益	2			
計(a)	202	計(b)	207			
		差引(a)-(b)	-5			

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2022年 3月末	当第1四半期 2022年 6月末	増減	科目	前期 2022年 3月末	当第1四半期 2022年 6月末	増減
流動資産	391,686	423,948	32,261	負債	363,183	386,326	23,143
現預金	58,142	59,004	862	営業債務	65,169	63,021	-2,148
営業債権	149,848	156,655	6,806	有利子負債	229,090	254,970	25,879
棚卸資産	174,624	198,741	24,117	その他	68,922	68,335	-587
その他	9,071	9,546	475				
固定資産	336,500	334,236	-2,263	純資産	365,004	371,858	6,854
有形固定資産	223,701	222,579	-1,121	株主資本	303,179	308,773	5,593
無形固定資産	3,776	3,894	118	その他の包括利益 累計額	26,533	27,011	477
投資その他の資産	109,022	107,762	-1,260	非支配株主持分	35,290	36,073	783
資産合計	728,187	758,185	29,997	負債純資産合計	728,187	758,185	29,997